

# 百人一步通信

～「一人の百歩より百人の一步」の社会を作ろう～

【発行】今井和夫とともに歩む「百人一步の会」

【代表】今井和夫(宍粟市議会議員)

〒671-3211 兵庫県宍粟市千種町岩野辺 1065

☎090-9610-2511

✉tamago@imaifarm.jp

カエルがにぎやかに鳴き出しました。田んぼに水が張られると、待っていたかのように鳴いてくれます。まだ夜の水は冷たいだろうに、それでも元気に鳴き出します。

ありがたいですね。コロナ・コロナで、ふさぎ込んでしまいそうなときに、自然は時の経過とともに、変わらぬ営みを私たちに見せてくれます。「また、元気になれるからガンバレ～!!」そんな声に聞こえます。

医療・介護関係、保健所や行政の皆さん、等々、大変なご苦勞をされていることと思います。

ここに来て、また緊急事態宣言の延長。影響の出る事業所の方々、ほんとうに厳しい中と思いますが、いつか必ず来る終息の日を希望に、なんとか、なんとか～、頑張りましょう。

## 子どもたちが心配

長引く学校休校。子どもさんたちはどうされているでしょうか。保護者の皆様も本当に心配なことと思います。学校関係の方々もこの先の予定が決まらない中で、様々にご苦勞されていることと思います。

ちまたでは「9月入学」なども言われたりしていますが、現実的にはこの9月から実施するのはとても無理だと思います。

学習面ももちろん心配ですが、食事や生活も気がかりです。給食は子どもたちの栄養バランスの大きな柱でした。忙しい家庭の中でなかなかきちんとした食事をとることができない子どもたちも多くいるのではと思います。あるいは、教室や部活での成長もストップ。体力・気力の低下、昼夜逆転、ゲーム漬けの子もいるかも分かりません。大人でもそうになってしまいます。あるいは、障がいのある子どもの介護は？ ストレスが多くなった家庭で児童虐待は？

先生方も勤務が制限される中で、必死に子どもたちと連絡を取り合い、今できる精一杯のことをされているようです。子どもたちも何とか頑張ってください。

全国では5月7日から学校再開されたところも多くあります。兵庫県や宍粟市においても、もうすぐ再開されるのではと期待するところですが。

オンライン学習等の準備も教育委員会ではされているようです。やるのならば、子どもと先生がお互いの画面に映り、会話ができるようなものでないと、なかなか効果は難しいのではと思います。このコロナ禍は長期化することも十分に考えられます。冬になるとまた流行するのではとも言われます。だから、このようなオンラインでの授業環境は何とかそれまでに整える必要があるかと思うのですが、現実には、器材がなかなか揃わないそうです。これも中国依存の弊害でしょう。

## 休校長期化なら とりあえず 小1・小6・中3生と小規模校の早期再開を

そんな中で、文科省は4月30日に「小1・小6・中3生の先行再開案」も出されました。「これだけだったら教室を広く使えて三密(密集・密接・密閉)にならないだろう」と。宍粟市においても、これはぜひともすぐに検討して頂きたいです。

特に中3生は入試を控えて心配も大きいと思います。一日も早い再開を望みます。また、もともと人数の少ない学校では普通に登校しても三密にならないところも多いです。そのような小規模校は、万全の対策をした上で再開していてもいいのではないのでしょうか。緊急事態です。条件の揃う学校・地域単位で考えていくことも十分アリかと思えます。



田んぼに水が入りました。(千種町岩野辺)

大人でも休み癖がつくとなかなかすぐに戻れません。学校再開のとき、長期休校後ゆえの留意点も多々あるかと思しますので、くれぐれも注意し、地域でもしっかり見守りたいものです。

## きびしい経営

「閑散とした飲食店。残業がなくなった。家賃が払えない。人件費が～。」

きびしい話を聞きます。事業所の中には、この度の政府の支援ではとても足りないところもあります。また、手続きがとても難しいとも。

とにかく、国・県・市で、支援制度ができていますので、まだよく分からない方は、とりあえず、市に相談してください。

### 宍粟市相談窓口

☎0790-62-2518 (平日 8:30～17:15)

市の窓口で電話か、市のHPやLINEを見てください。



テレビを見ていても「観光地がこんなに閑散としてしまいました～」 「商店街がこんなにガラガラになってしまいました～」と、なんか悪いことをしてるかのような報道なのですが、イヤ、そうなるように要請しているのでしょうか。だったら、「みなさんのご協力のおかげです」くらいの言葉があってもいいように思うのですが。

それで、その事業所の方には十分な支援を国がする。それでないと、「酸素ボンベを渡さずずっと水にもぐっとけと言ってるようなもんや」。(YouTube「せやろがいおじさん」おもしろく勉強できるからぜひ見てください。)

## コロナ禍の前からきびしかった

ここに来て「もう店たたもか」というような声も聞きますが、これって単にコロナ禍だけにやられたからではないように思うのです。「たとえコロナがマシになってもどうせもう無理や」つまり、コロナ禍が終息して元に戻っても、その元自体がすでに経営が非常にきびしく借金をかかえた自転車操業状態だったのではということです。

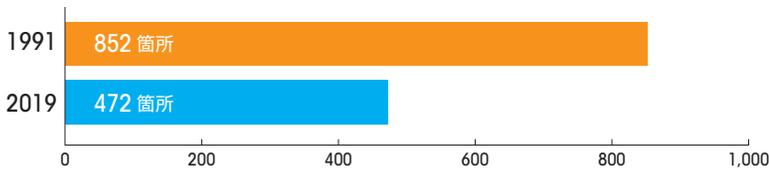
昨年 10 月の消費税増税、これはいよいよ景気にとどめを刺されたと言われます。家計の消費支出は前年比マイナス 2%。コロナがなくとも倒産する企業はたくさん出てきていたのです。

今、マスコミは「すべてはコロナのせいだ」と言わんばかりの報道ですが、実はその前から、日本経済は沈んでいた。景気が良かったのは大企業や株主だけ。アベノミクスは結局、大企業・株主等の富裕層ばかりがいい思いをする政策だったのではないのでしょうか。「地方創生」は口ばかりだったのでは…。

### 医療現場もすでに崩壊していた ??!

また、このような数字もあります。

#### ● 全国の保健所の数



\* PCR 検査が進まない一因。宍粟市もなくなりました。

#### ● 感染症病床



- 自治体病院 2001 年 → 2017 年に 133 病院がなくなる。
- 人口当りの医学部卒業生数 OECD34 ケ国中最下位。
- 定期健診の有所見率 (不調・異常の割合) 1986 年まで 10 人に 1 人 → 今 10 人に 6 人

ひどいですね。感染症病床は 8 割削減!! だから、PCR 検査もすることができない。検査して陽性になっても受け入れる病床がなさ過ぎる。

しかし、国はさらにまだ公立病院の統廃合を進めると言っています。ちょっとおかしいんじゃないですか～。

結局、公的医療機関を削減し、儲かる医療への民間企業の参入をしやすくし、結果、儲からない分野はどんどん削減されてきたということでしょうか。

### 「種苗法改正」って知ってますか？

このコロナ禍のスキに、今国会で「種苗法」が改正されようとしているのをご存じでしょうか。原則、種子を開発したもの (主に世界的な巨大種子企業) の許可がなければ種取りはしてはいけないとするものです。

これも実は大変問題の多い「改正」なのです。

一昨年、「種子法」といって、コメ・麦・大豆の種は公的機関が公費で開発・管理をしなければならぬと定めていた法律を今の政府は廃止しました。税金で開発していたので、私たちは安く安定的にコメ等の種を買うことができていたのですが、その法律を廃止してしまったのです。(兵庫県議会は「それはダメだ」といち早く県単位で種子を守る条例を作りました。今、その動きは全国に広がっています。)

かわりに国は、「農業競争力強化支援法」という、今まで公的機関が開発してきた種の知識・技術を巨大種子企業に差し出さなければならないという、とんでもない法律をつくりました。

そして、今回の種苗法改正。巨大種子企業がつくった種を勝手に種取りをしてはいけないとするもの。

この三つはセットです。これで、私たちの命の根幹の「種」が巨大

種子企業に握られることになります。種というのは、本当は私たちの祖先が営々と大切にその土地に適したものを育ててきた結晶です。私たちの固有の公共の財産なのです。

### すべて献金してくれてる大企業のための政治 ??!

一体、今行われている政治は誰のための政治なのでしょう？ 私たちの暮らしと命、地域を守るための政治ではなく、献金してくれてる大企業のための政治というしかないのではないのでしょうか。

郵政民営化、農協解体、派遣法、入管法改正、水道民営化、TPP で農産物輸入増、消費税アップと法人税引き下げ、公的医療機関の削減、農地の株式会社の所有を認め儲かるところだけ企業に売り渡す、年金削減、健康保険税増税、先進国の中では異常に高い教育費、地方交付税削減、…。言い出したらキリがありません。

皆、共通です。だから、私たちの暮らしは年々苦しくなり、地方はどんどん衰退していくのだと思います。ここが根本原因だと私は思います。

### 食料自給が言われぬ!!

ここに来て、いろんなモノが中国に依存していたことがわかって、マスコミも「国内でちゃんと作っておかなければ」と言い始めています。

でも、不思議とそこに「食料を自給しなければ」が出てきません。これもちょっとおかしいんじゃないですか～。

国として自給すべきもの、何を差し置いてもまず「食料」でしょう。日本の食料自給率はカロリーベースで 38%。どんどん下がっています。でも、国は TPP や日米貿易協定でさらに輸入を増やそうとしています。

「国としての食料自給の確立」こそが宍粟市のような中山間地が生き延びる最低条件なのですが～。

このように、テレビ・マスコミでは報道されない真実がたくさんあります。皆さん、身近なところで様々に頑張っておられると思うのですが、このような国レベルのことが、結局私たちの暮らしや地域がなかなか良くなっていかない原因の大きな一つでもあると思います。私もまだまだ知らないことばかりですが、まず『知る』ことから始めましょう。

とにかく、コロナに負けず、正しく恐れ、長丁場をがんばりましょう。(続く)

### 森友学園問題での自死職員の遺書はどうなった？

コロナで隠れてしまってますが、森友学園問題で自死した元近畿財務局職員の遺書が公開されました。

「森友事案は、すべて本省の指示、本省が処理方針を決め、(略)嘘に嘘を塗り重ねるといふ、通常ではあり得ない対応を本省は引き起こしたのです。」

本省 (財務省) はなぜ改竄を指示したのでしょうか。

権力者が黒を白と言えれば白で通る、そんな社会を子どもたちに残したくはありません。

為政者の最大の要件は人として信頼できるかです。『徳』のない者がリーダーにいるほど国民にとって不幸なことはありません。どんなに声高に呼びかけても人々の心に響かない。

森友学園問題の再調査。これは避けて通れないと思います。